

益々進化する「省エネ」「創エネ」の営業専用ツール
『太陽光F P電卓』機能を追加しました

平成 24年 11月
株式会社システムデザイン・アクティ
代表取締役 石本光史

「省エネ住宅」を推進する時、クリアすべき営業的ポイントは・・・その費用増に対する負担感を如何に解決するかです。住宅のゼロエネルギー化を実現する為の重要要素は「創エネ」を併設する事で実現できる点です。その点で「太陽光発電システム」を同時に提案する必要があります。

これからの新築、リフォーム、いずれの営業現場においても重要項目です。

「太陽光F P電卓」では、営業シーン別に以下のシミュレーションを準備していました。

- ① 新築住宅に創エネとしての「太陽光設備」を設置する場合
- ② リフォーム工事として、「太陽光設備だけ」を設置する場合
- ③ 住宅ローンの借り換え時に、リフォーム資金も併せて借りて中規模リフォームを行う
※現在、住宅ローンを抱えている方にとって返済額の負担増を避ける為に有効な手段

この度、機能を追加致しました。

◆ <リフォーム工事+太陽光設備> のシミュレーションを追加しました。

今後、益々注目される「断熱リフォーム」「耐震リフォーム」などの大型リフォームに対応します。(既に、住宅ローンの無い方や負担感の無い方に有効です)

「リフォーム工事 + 太陽光設備」・・・如何なるリフォーム工事においても
太陽光設備を付ける事が提案のポイントです。

太陽光設備を付加すると・・・返済額は当然に増えます。

しかし 「ローン返済 + 実質電気代負担額」 で比較すると・・・

“ほとんど“差”がない！” 事が確認できます



“差”がないならば・・・是非、環境に良い設備を設置しましょう

※施主は、喜ぶ！断る理由もない！ ※施工会社は、工事金額、利益ともに増加！

◆ <太陽光モジュールの設置角度の変更>

発電量計算の前提としては、設置する方角と角度を固定していました。

方向：真南 角度：30度

<変更点>

設置角度を、水平～90度まで10度単位で変更可能にしました。住宅用の営業面ではさほどの有効性はないのですが、産業用は収益事業ですので、角度設定による売電収入の変化は重要要素となりますので機能追加しました。

10度や20度の違いで大きな差異が出る地域と、ほとんど差異の無い地域があります。(30度が一番効率が良いと言われてはいますが、地域による異なる事が確認できます
因みに、東京は30度が一番効率が良い)

<問合せ>

〒690-0044 島根県松江市浜乃木 7-9-7

株式会社システムデザイン・アクティ マーケティング事業部

電話 (0852)31-1670

FAX (0852)31-8399

URL <http://www.acty.ne.jp> e-Mail : info@acty.ne.jp

太陽光F P電卓専用 URL : <http://solarfp.com/> e-mail info@solarfo.com